

小野小・北中 小中一貫外国語（英語）教育 全体構想

児童の実態

- ・明るく素直な児童が多い。
- ・授業や生活は真面目で積極的に取り組める。
- ・人前で自分の考えを発表するのが苦手である。
- ・新しい人間関係をつくることが不得意である。

外国語（英語）教育の重点目標（小中共通）

- 1, コミュニケーション能力の育成
- 2, 異文化や異なる文化を持つ人々を受容し、共生する態度の育成
- 3, 自分の考えや意見を発信し、具体的に行動できる能力の育成

生徒の実態

- ・素直で何事にも真面目に取り組むことができる。
- ・決められたことや任されたことに対しては責任をもって取り組むことができる。
- ・自分の意見や考えを伝えたり表現したりすることに消極的である。

目指す小学校卒業時の姿

外国人に対して物怖じせず、英語で挨拶や自己紹介するなど、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

カリキュラム連携

- (1) 目標の一貫性
- (2) 題材の系統性
- (3) 指導法の継続

目指す中学校卒業時の姿

外国人に対し相手の立場や状況を考えながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。自国の文化やふるさとに誇りを持ち、英語で伝えることができる。

外国語（英語）教育の具体的な取組

1. CAN-DOリスト

- ・小3から中3までのCAN-DOリストの作成
- ・CAN-DOリストをもとにした授業実践

2. パフォーマンス評価

- ・ルーブリックを使用した評価
- ・ビデオ撮影による自己評価・相互評価

3. 授業参観交流

- ・小中互いの英語教師や担任、ALTによる授業公開
- ・保護者や地域への授業公開

4. 児童・生徒交流

- ・英語による作品の掲示
- ・英語(外国語活動)の取組をビデオで視聴

5. 実態調査・活用

- ・4技能の調査の実施と活用(GTEC)
- ・英語に対する意識調査の実施と活用

6. 環境整備

- ・校内放送を活用した英語放送
- ・英語ルームや英語掲示板の活用

行事等との関連【国際理解的な視点】

- ・英語弁論大会への全員参加

他教科等との関連【教科横断的な視点】

- ・興味、関心をもたせ主体的に学べる
- ・思いや考えを自分の言葉で表現する
- ・ねらいを基に見通しをもって学習できる
- ・自分ごととして振り返りができる